様式１

（担い手の育成・確保に取り組む組織又は当該組織を推薦する者→中央果実協会（事務局））

果樹農業における担い手の育成及び活躍表彰（令和○年度）

（担い手の育成・確保の部）参加申込書

令和　年　　月　　日

　（公財）中央果実協会（表彰事務局）

（ふ　り　が　な）

名称

郵便番号、住所

（複数機関の連携による組織の場合は、「住所（事務局）」として、事務局の住所を記載）

　　果樹農業における担い手の育成及び活躍表彰（令和○年度）の趣旨に賛同し、担い手の育成・確保の部に参加を申し込みます。

記

1. 組織の名称及び住所（自薦の場合は名称及び住所は省略可）

（ふ　　り　　が　　な）

* 名　　称
* 郵便番号、住　　所

（複数機関の連携による組織の場合は、「住所（事務局）」として、事務局の住所を記載）

* 複数機関の連携による組織にあってはその機関の名称（すべての機関の名称を連記するとともに、組織運営に関して連携を示す協定書・覚書等の書類の写しを添付）
1. 取組の概要

様式１－１に記載

以上

様式１－１

果樹農業における担い手の育成及び活躍表彰（令和○年度）（担い手の育成・確保の部）における取組の概要

都道府県名：

組織の名称（ふりがな）：

郵便番号、住所（ふりがな）：（注：複数機関の連携による組織の場合は、「住所（事務局）」として、事務局の住所を記載）

連絡先：（担当者氏名、電話番号、電子メールアドレスを記載）

1. 取組の要旨（300字程度）

取組類型：

* 取組の特徴と効果を記載する。
	+ 取組の特徴を記載するに際しては、果樹農業における担い手の育成及び活躍表彰審査会運営要領（令和７年５月１２日制定）２の（１）の①～④を参照し、１）トレーニングファームの運営（Ａ類型）、２）生産者園地の活用した研修（Ｂ類型）、３）園地の集約・整備を契機とした取組（Ｃ類型）、４）移住促進・災害復興と果樹振興の施策の組合せ（Ｄ類型）、の活動のどれに該当するかをＡ～Ｄの記号を使って上記の記載様式に従って表記する。
	+ 複数の類型の取組を行っている場合は、主たる取組類型の記号の隣に（　）内に従たる取組み類型を記載する（記載例；トレーニングファームの運営が主で、園地整備も行っている場合はＡ（Ｃ）と記載）。
	+ 取組の特徴は、その主たる活動の内容を簡潔に明記する。また、従たる取組との組み合わせに特徴がある場合はそれを特記する。
	+ 取組の効果を記載するに際しては、取組実施期間とその間の研修者数、就農者数、就農者への園地継承面積等の取組効果を示す情報を明記する。
1. 取組開始の経緯
* 地域の立地条件や農業者の年齢構成、後継者の有無、遊休園地面積の増加など取組開始に至った経緯が分かるように記載する。
* 組織の設置や実施体制を整備した年月と体制、主たる実施事項を記載する。
* 研修対象の樹種を記載する。トレーニングファームにあっては、主たる樹種の研修園面積と露地・ハウスの別などを記載する。
* 園地の集約・整備を契機とした取組の場合は、園地の集約・整備の実施主体とその取組みの経緯を記載する。
1. 募集方法等
* 新規就農希望者等の募集対象が、地域の非農家出身者、地域外からの新規参入者なのかがわかるように記載する。
* 募集方法として、ホームページやＳＮＳ、就農相談会の参加等の手段を記載し、応募から研修生として受け入れ決定に至るまでの手続きとその実績（相談数、面接数、短期研修参加人数等の概数）を記載する。
* 園地の集約・整備を契機とした取組や、移住促進・災害復興と果樹振興の施策の組合せの場合は、外部からの新規参入者に対する園地の割り当て等の方法やその決定の手続きと実績（園地継承等の対象人数）を記載する。
1. 研修期間、研修の運営方法
* 長期研修の期間に幅がある場合はその期間の幅を記載し、主たる研修内容を記載する。
* 移住促進・災害復興と果樹振興の施策の組合せの場合は、短期研修、初心者研修等の実施状況、研修対象者、実施期間、研修頻度と主な研修内容を記載する。
1. 研修生等の生活安定の方法
* 長期研修の研修生への収入確保、研修期間中の宿泊等の生活安定の方法を記載する。
1. 研修修了者への園地、施設、農業機械、住宅等の斡旋の状況
* 研修修了者が独立就農するに際しての、園地、倉庫等施設、農業機械、住宅等の斡旋の状況を記載する。
* 研修生が地区の農業者と知り合いとなり、園地を借りやすくするような活動があれば記載する。
1. 園地の集積・集約、整備の状況
* トレーニングファームの運営、生産者園地の活用した研修の取組において、研修修了者の就農時の園地継承に関連して、園地の集積・集約、整備（新植/改植等）の活動があれば記載する。
* 園地の集約・整備を契機とした取組や、移住促進・災害復興と果樹振興の施策の組合せの場合、上記で記述した内容以外の取組や計画があれば記載する。
1. 研修と就農の実績、就農時の園地継承の実績
* 研修等の実施年数と研修生数、就農者数、就農時の園地継承面積が分かるように記載する。
1. 就農後の経営・栽培技術・販路確保等の支援体制と内容
* 就農後に以下のような支援を行っていれば、その実施体制と内容を記載する。
	+ 技術講習会等の定期的な開催
	+ 就農してしばらくの間の巡回指導
	+ 農機具、倉庫等の貸与
	+ 収穫した果実の販路の紹介・提供
	+ 未収益期間の新規就農者への摘果・収穫作業等の臨時雇用の紹介・提供
* 就農時の農業投資に必要な資金提供を地域で独自に行っている場合はその取組を記載する。